

第2回 かしてつ沿線地域公共交通戦略会議 議事録

日時：平成21年2月24日（火）午後1時30分～午後3時00分

場所：小美玉市四季文化館（みのーれ）風のホール

出席：委員名簿の通り

1. 開会 事務局長

2. あいさつ

石岡市企画部長 田口 賢寿

3. 議事

(1) 【資料1「かしてつ沿線地域公共交通総合連携計画（案）」の説明】

- ・前回の討議内容を踏まえて、計画（案）に「地元とのタイアップ」を追加した。
- ・かしてつバス応援団の活動記録（参考資料）について押久保委員が説明した。

【質疑】

(川口ワザバー) かしてつ応援団への募金の使い道は？

(応援団顧問) かしてつ応援団は沿線の7高校で活動しているが、応援団自体は任意団体のため生徒会等の資金は利用できないために、募金で集まったお金を活動資金としている。鹿島鉄道当時は、かしてつフリー切符1100円のうち600円補助したこともある。

(石田座長) 今日も、募金を行うのですね。この協議会に集まった皆様も、是非、ご協力をお願いしたい。

(荒川委員) 応援団の日頃の活動に感謝します。関鉄グリーンバスは3月にダイヤ改正する。鉄道のような見やすい時刻表（A4版）を作成し、裏面に応援団のアイデアを活かし、モビリティマネジメント（以下、MMと呼ぶ。）の一環として、「路線バスをご利用下さい。使いやすいバスにします。」といったメッセージと応援団がつくったデザインを描いたビラを、一般の方に配布することになっている。グリーンバスと応援団の連名としている。

(川田委員) 南台2丁目内には、2丁目と県営団地の二つの停留所があるが、これまで、バス時刻表の作成や、美化運動としてバス停留所周辺の一斉清掃などの活動をしてきた。また、新たな活動に取り組みたいと思っている。

(田島委員) 応援団をお願いしたい。「こんなバスに乗りたい・使いたい」といったアイデアを提供してほしい。そして、そのアイデアを多くの人に見てもらえる機会をつくってほしい。

(石田座長) 応援団はがんばっている。次に皆が集まる際にでも、大人に何をしてほしいという注文をつけて下さい。

【資料1補足の説明】

- ・連携計画は公共交通の運行面の課題を解決するための対策検討が目標だが、自動車による渋滞や環境負荷、人口減少、少子高齢社会、中心市街地の魅力低下といった課題解決も必要であり、あわせて取り組んでいく。

【質疑】

(赤星委員代理) こういった方向で、二つを同時にとりまとめることは効率的で良い。

この方向でとりまとめてほしい。

(田島委員) 地元との連携のために一般市民を説得する必要がある。こうした意味から、今回の計画内容を広報等で周知してほしい。

(事務局) 議会からも要望があるので、そうした方向で進めていく。

(石田座長) 狭い意味の公共交通活性化だけでなく、街づくりも連携していくという方向性を確認した。市民への周知・広報も実施していくことを確認した。

(2) 【資料2「かしてつ沿線地域公共交通総合事業計画(案)」の説明】

「かしてつ沿線地域公共交通総合事業計画(案)」について、事務局が説明

【質疑】

(川田委員) 南台の旧駅舎や駅前広場、東田中旧駅舎等の整備は、本資料に含まれるのか

(事務局) 後で説明する資料3のうち「2.バス停周辺施設の設計」に入る。但し、協議会が実施する事業ではないので、資料2には入らない。

(事務局) 南台駅の整備は、トイレなど既存施設は極力利用しつつ、今後検討していきたい。

(川田委員) 整備にあたって、地元の要望を汲むためにアンケートなどしないか

(事務局) 設計の段階で、要望などを聞いていきたい。

(田島委員) 南台駅の北側の市営住宅側からの駅アクセスがないが、整備しないか。小径があるが、整備しないか。

(事務局) 検討する。

(事務局) 駅北側の需要も取り込んでいければと思う。

(田島委員) 是非、お願いします。

(事務局) 田島委員、川田委員のご意見を尊重しながら検討したい。また、バス専用道内を歩行者が歩くことについても検討の必要があると思う。

(石田座長) 資料3の黄色い部分が総合事業計画、白い部分は道路事業等を駆使していくことになる。公共交通活性化とあわせて街づくりも検討する必要があるので、今後、白い部分についても簡単な資料をつけてほしい。

(高畑委員) バスのデザインは、いつ頃までに提案したらいいのか。

(事務局) 資料3.8を参照願いたい。スケジュール的には平成21年度上半期位までだ。

(石田座長) 資料3.9のトータルデザインの中で考えていくということだ。9月まで引つ

張って大丈夫か。少し厳しいかもしれない。

(田村委員) 資料 2 の P2 で専用道Ⅱ期整備に向けての検討が、H23 頃になっているが、全体事業計画のスケジュールでは 4.バス専用道本線工事(Ⅱ期)は平成 23 年度一杯検討となっていて、整合しない。

(事務局) 資料 3 が正しい。

(石田座長) 資料 2 は訂正してください。質問だが、資料 2 の 2 ページ目のバス実証運行 H21 年度 1600 万円は、何を見込んだのか。

(事務局) 実証運行は、H21 年度 2 月末に供用するので、H21 年度 3 月の 1 ヶ月分を計上している。運営費と旅客運賃収入の差額を補助することで、高密度運行やルート延伸などの運行実験をする費用だ。

(石田座長) 赤字を予想して、そのための補填費用か。かなり色々なことを考えているようだが、沿線地域の皆さんと連携して、沢山の利用者の乗ってもらうようにもって行ってほしい。

(川田委員) 資料 3.13 で MM とある。第 1 回協議会の報告を地元で行ったが、東台自治会は要望書を提出したという。東田中自治会にもお願いした。自治会の取り組みは、現在は役員改選期なので、それが終わる 5 月頃から本格化する。その中で、MM や PR 活動を進めていきたいので、5・6 月頃からやっていただけるとありがたい。南台循環道路の沿線には人口も多く、住宅・商業施設整備が進んでいることから循環道路を走るバスもバス専用道に入れる方向で検討いただきたい。

(石田座長) MM としてはちいきだけでなく、高校や事業所の MM も是非進めてほしい。

(田島委員) 資料 3.12 のバスロケーションシステムは携帯・パソコン用のようだが、高齢者など交通弱者が多いので、従来のようにバス停にも表示できるようにしてほしい。

(事務局) バスロケーションシステムについては、費用対効果の観点で妥当なら導入するという方向だ。

(石田座長) 他に、ご意見はないでしょうか。これまでの議論から、資料 2 についてもご承認いただいたものとします。

(3) 【資料 3 「全体事業計画のスケジュール」の説明】

「全体事業計画のスケジュール」について、事務局が説明

【質疑】

(中山委員) H21 下半期は協議会が実施する事業が多い。分科会などをつくって検討するのか。

(事務局) 専門性の高い問題については分科会も考えられる。座長・会長と相談して進めて行く。

(石田座長) スケジュールがタイトなので、事務的に調整しつつ進めたい。

第三回協議会ではトータルデザインを検討しないといけない。MM もなるべく早く取り組む方が実質的な負担は少なくなるので、第三回協議会で検討したい。また、出席しておられる官庁の委員の方が二は、事業採択に必要な情報は提出するので、事務局にぜひ注文してください。

(田村委員) 実証運行と本格運行のイメージは？

(事務局) 実証運行は、運行パターンや利用者ニーズを探るというイメージ。

(中山委員) 実証運行は、本来1年が目途になる。同じ内容だと延長できないのが通常だ。また、詳しい相談をしたい。

(梅田委員) PR・広報を含めてMMは、もう開始するということが良いと思う。

(田島委員) 空港開港はH22.3の予定だ。それまでにBRT供用は可能か。

(事務局) 間に合わせたい。

(石田座長) 検討内容は、非常に多岐にわたる。個別にご相談にあがることもあると思うが、ご指導よろしく願いいたします。

15:00 散会

今後の検討課題について

発言者	発言内容	課題
応援団へのお願い		
田島委員	応援団にお願いしたい。「こんなバスに乗りたい・使いたい」といったアイデアを提供してほしい。そして、そのアイデアを多くの人に見てもらえる機会をつくってほしい。	事業推進にあたって「かしてつ応援団」の取り込みを強化する。 →協議会に分科会を設置し、住民・高校生・事業所との連携・協働を進める。
石田座長	応援団はがんばっている。次に皆が集まる際にでも、大人に何をしてほしいという注文をつけて下さい。	

地元の取り組み

川田委員	南台2丁目内には、2丁目と県営団地の二つの停留所があるが、これまで、バス時刻表の作成や、美化運動としてバス停留所周辺の一斉清掃などの活動をしてきた。また、新たな活動に取り組みたいと思っている。	市民への広報(PR)を強化する。 →協議会ホームページに立ち上げによる広報実施	
田島委員	地元との連携のために一般市民を説得する必要がある。こうした意味から、今回の計画内容を広報等で周知してほしい。		
事務局	議会からも要望があるので、そうした方向で進めていく。		
石田座長	狭い意味の公共交通活性化だけでなく、街づくりも連携していくという方向性を確認した。市民への周知・広報も実施していくことを確認した。		
川田委員	その中で、MMやPR活動を進めていきたいので、5・6月頃からやっていただけるとありがたい。		新年度早々に住民・高校生・事業所のMMを開始する。
石田座長	MMとしては地域だけでなく、高校や事業所のMMも是非進めてほしい。		
梅田委員	PR・広報を含めてMMは、もう開始するということが良いと思う。		

システム整備

川田委員	南台の旧駅舎や駅前広場、東田中旧駅舎等の整備などを含めて、整備にあたって、地元の要望を汲むためにアンケートなどをしてほしい。	バス停周辺整備計画を新年度早々に地元のニーズ・要望を取り込みながら策定する。
事務局	設計の段階で、要望などを聞いていきたい。	
事務局	南台駅の整備は、トイレなど既存施設は極力利用しつつ、今後検討していきたい。	
田島委員	南台駅の北側の市営住宅側からの駅アクセスがないが、整備が必要	
川田委員	南台循環道路の沿線には人口も多く、住宅・商業施設整備が進んでいることから循環道路を走るバスもバス専用道に入れる方向で検討いただきたい。	バス運行計画の策定にあたって地元住民・バス事業者との協働→分科会

今後の協議会議論にあたって

石田座長	資料3の黄色い部分が総合事業計画、白い部分は道路事業等を駆使していくことになる。公共交通活性化とあわせて街づくりも検討する必要がある。今後、白い部分についても簡単な資料をつけてほしい。	総合事業計画以外のインフラ整備計画等に関する検討内容・結果を協議会に報告する。
中山委員	H21下半期は協議会が実施する事業が多い。分科会などをつくって検討するのか。	各事業分野ごとに分科会設置し、担当機関の指導を得ながら効率的に検討を進めていく。
事務局	専門性の高い問題については分科会も考えられる。座長・会長と相談して進めて行く。	
石田座長	スケジュールがタイトなので、事務的に調整しつつ進めたい。	
石田座長	検討内容は、非常に多岐にわたる。個別にご相談にあがることもあると思うが、ご指導よろしくお願いたします。	

システムデザイン

高畑委員	バスのデザインは、いつ頃までに提案したらいいのか。	バスのデザインを含むトータルデザインの検討を早期に開始し、次回協議会にはたたき台を提示する
事務局	資料3.8を参照願いたい。スケジュール的には平成21年度上半期位までだ。	
石田座長	バスのデザインを含めてトータルデザインは、早期に検討する必要がある。第三回協議会で検討する。	
石田座長	第三回協議会ではトータルデザインを検討しないといけない。MMもなるべく早く取り組む方が実質的な負担は少なくなるので、第三回協議会で検討したい。また、出席しておられる官庁の委員の方がには、事業採択に必要な情報は提出するので、事務局にぜひ注文してください。	

システム運営

事務局	実証運行は、H21年度2月末に供用するので、H21年度3月の1ヶ月分を計上している。運営費と旅客運賃収入の差額を補助することで、高密度運行やルート延伸などの運行実験をする費用だ。	実証運行から本格運行にいたるシステム運営方針(利用促進、運賃水準、収支予測、欠損処理)を検討する。
石田座長	赤字を予想して、そのための補填費用か。かなり色々なことを考えているようだが、沿線地域の皆さんと連携して、沢山の利用者の乗ってもらうようにもってほしい。	
田村委員	実証運行と本格運行のイメージは？	
事務局	実証運行は、運行パターンや利用者ニーズを探るというイメージ。	
中山委員	実証運行は、本来1年が目途になる。同じ内容だと延長できないのが通常だ。また、詳しい相談をしたい。	